

2学期始業式の言葉

傷つけていませんか

校長 島本 勝弘

今日から、2学期が始まります。夏休みは皆さん有意義に過ごすことができましたか。

また、熊本では大きな地震が、千葉では未曾有の大豪雨がありました。今でも、多くの方が不自由な生活を送っています。大切な御家族、御友人をなくされた方もいます。犠牲となられた全ての方の御冥福を心からお祈りします。

今年の夏はここ数年でも過ごしやすい夏でした。本州からは連日、猛暑のニュースが伝えられます。たくさん友人と交流した人。たくさん家族と楽しい時間を過ごした人。たくさん本を読んだ人。たくさん勉強した人。様々かもしれません。2学期は他の学期よりも少し長いのは知っていますか。「あー、嫌だなー」と思う人もいるかもしれません。なぜ長いのでしょうか。完全な正解はありません。

実際、2学期の日数は多いですね。大きな行事があり、忙しく感じるからかもしれません。3年生はテストが多いのも要因かもしれません。でも、前向きに考えてみたいですね。「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」と言われるように、秋は気候も穏やかで、心身共に充実する季節です。物事にじっくりと取り組むことができるのもこの時期です。1年生にとっては、慣れてきた中学校生活、2年生にとっては、委員会や部活動で中心となるが増えてきます。3年生にとっては進路選択の大切な時期ですね。

少し長い2学期も、充実した毎日にしてほしいと思います。

また、毎日の生活の中で振り返ってほしいことがあります。誰かを傷つけたり、困らせたりしていませんか。私たちは知らず知らずのうちに人を傷つけてしまっています。友人や兄弟、お父さん、お母さん、お店の人、先輩、後輩、隣のおじさん、裏の小学生、あの

ときのあの言葉、あの態度。少し振り返ってみてください。今、思い浮かんだことをもうしないことを心に誓ってみてください。もう「傷つけつけることは言わない」と決め、誓うことが大切です。粘り強くです。

「ねばるんや」ですね。

さあ、始まりです。2学期を充実した学期にしましょう。

生徒を代表して「2学期の抱負」

生徒代表

僕はこの夏休みの間、特に部活動に力を入れてきました。夏休み中は所属している陸上部の部活や大会が多々ありました。その中にはとても暑い日があり、きついメニューもありました。しかし、そんな中で練習に励み、頑張ったことで選手権大会・新人戦で自己ベストを取ることができました。

2学期からは3年生が引退し、自分たちの代となります。だからこれまでより一層自分で考えて動き、1年生の見本となれるような姿を見せたいです。そして、全道大会などの大きな大会にもいけるよう日々精進していきたいです。

また、2学期は勉強にも力を入れていきたいと思っています。1学期では1時間程度の勉強を時々していただけたので、良い結果は出せませんでした。2学期は1学期と比べると学習する範囲がさらに拡大するため、その日に学習したことをその日に復習するといったことを習慣づけ、後々、後悔しないような勉強の取り組みをしていきたいです。



部活動の活動実績

陸上競技部

中体連全道大会

四種競技 【第3位】

野球部

ワタナベスポーツ杯

1stStage 2-6 陵陽中、3-8 宮の森中

2ndStage 4-1 藻岩中

FinalStage 4-8 八条中

卓球部

札幌卓球選手権大会（カデットの部）

○14歳以下男子シングルス

ベスト 64

ベスト 64

○14歳以下女子シングルス

ベスト 64

ベスト 64



教育実習生の紹介

教育実習生が着任いたしましたのでご紹介します。

理科 学級：1年2組

教育実習生から

私自身、この真駒内曙中学校の卒業生でもあります。母校で教育実習をさせていただけることを、大変うれしく思っております。担当学級以外の学年・学級にもお邪魔させていただく予定ですので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

3週間という短い期間ではありますが、皆様とともに学び、充実した実習にしていきたいと思います。3週間よろしくお願いいたします。

9月の主な行事予定

- 1日(火) 立会演説会リハーサル
- 2日(水) 立会演説会、選挙管理委員会⑤
- 3日(木) 得点通知表配布（技家）
- 7日(月) 学校諸費再引落日
- 9日(水) 4組個人懇談（～11日）
- 10日(木) 3年学力テストA

18日(金) 曙文化祭、学校公開日、No部活 day
教育実習終了（理科）

21日(月) 敬老の日

22日(火) 国民の休日

23日(水) 秋分の日

24日(木) Stime、No部活 day

28日(月) B時間割開始、学級委員選出

ハルニレの木アンケート

集計・分析結果

本校のシンボルとして生徒・地域を見守ってきたハルニレの木（樹齢約300年）が倒木・切削となるにあたり、その活用方法や思い出について生徒会で全校アンケートを行いました。

実用的なアイデアから情緒的なエピソードまで、膨大な回答が寄せられ、一人ひとりがハルニレの木に深い愛情をもっていることが実証されました。また、単に悲しむだけではなく「これからは自分たちが学校を支える」という前向きな意識の変化も見受けられました。

寄せられた思い出やエピソードは、大きく4つのテーマに集約されました。

1. 体育や部活の「最高のオアシス（日陰）」
2. 虫とボールにまつわる青春のハプニング
3. 名物先生との絆・語り継がれる伝説
4. 地域のシンボル・親子二代の歴史

また、活用法については、個人向けの記念品（手元に残すもの）、校内設置・共有設備（みんなで長く使うもの）のアイデアから、より具体的な活用方法を決定するための際アンケートを実施し、実現に向け活動していく予定です。

8月31日（月）の放課後には地域・保護者の方へ樹木診断の結果を踏まえた今後の予定を説明することとなっています。

